

令和6年度 大津市男女共同参画審議会（第1回）会議結果

■日 時 令和6年10月17日（木） 13時30分～15時00分

■場 所 明日都浜大津1階 市民活動センター 大会議室

■出席者

審議会委員（10名）

平松会長、宮本副会長、高野委員、岸場委員、安達委員、坪井委員、遠藤委員、伊東委員、井上委員、木下委員（欠席：渡辺委員、横野委員、矢口委員）

事務局（5名）

傍 聴（0名）

■議 事

1 開会

2 議題

「おおつかがやきプランⅣ」の進捗状況及び指標の報告について

■議事に係る主な質疑応答・意見

「おおつかがやきプランⅣ」の進捗状況及び指標の報告について事務局より説明

委員：全体的に高い達成度であると感じている。今後も継続して取り組んでいくことが大事であると考えている。

委員：各所管課の取組に関する成果については達成が多いが、達成したか否かの評価はどのように行われているのか。

事務局：計画策定当初に、各所管課において年度ごとの取組目標を設定し、目標どおりに取組が行えたかどうか、所管課が4段階で評価している。評価に当たっては、課ごとにばらつきが出ないよう、また定量的なものとなるように伝達しているところである。報告された内容については、事務局において全体を確認し、疑義があれば個別に聞き取りを行っている。

委員：自己評価である場合、例えばイベントを実施したことで達成したということになると思うが、取組の中身を丁寧に振り返る視点を大切にしていきたい。また、イベント等においては、参加者の声の中に意味のあるものがあると思うので、そのような声を拾ってブラッシュアップしていってほしい。

委員：男性の育児休業取得率については、現計画策定時においても、目標値をどうするかという議論の中で、さらに高く設定するべきだと発言してきた。令和5年度においては、既に目標値を達成しているが、今後も更なる向上を目指して取り組んでいきたい。

事務局：男性の育児休業取得率については、国においても政府目標の引き上げについて通知があったところである。このことも踏まえながら、市としての新たな目標値について検討していく必要があると考えている。

委員：女性消防団員の入団促進については、消防担当課からどうすれば入団につながるかというような相談等はあるのか。

事務局：今のところ相談はない。現状としては、既に入団している女性団員を通じた働きかけを行うなどの取組を行っていると言われている。

委員：当該項目については、消防担当課だけでなく、男女共同参画担当課とともにこの課題に向き合って取り組むなどして、市全体で考えてほしい。

委員：女性防災士に関しても、地域において個人的に名乗り出ただけの方は少ない。市の働きかけだけでは難しいと思うので、地元を巻き込みながら働きかけていく方が効果的なのではないか。

委員：最終的には対個人での依頼になると思うが、全体的な周知活動については、市として行ってほしい。現場の消防士が出せないようなアイデアを男女共同参画担当課に補ってほしい。

委員：自治会で防災訓練を実施するに当たって、自治会内に案内をしているが、基本的には会員に向けてのみになる。防災士に関する案内についても、自治会の枠を超えると難しい面がある。

委員：若い世代や女性は、防災士になることのメリットや防災士が抱える負担について、そもそも理解できていないのではないかと感じる。仕事や子育て等もある中ではなかなか受け入れられない現状もあると思う。例えば、子どもや家族を連れて参加しやすい防災関連のイベント等の機会を通じて、防災士の取組等をPRするような手段があってもよいのではないか。

事務局：情報発信については、どうすれば必要とされている方に届けられるかといったことや、聞いていただきたい方に届けられるかといったことなど、市においても課題認識しているところである。それぞれの団体において、工夫されている点や苦勞されている点などがあれば情報共有していきたい。

委員：横のつながりが重要であると感じている。発信しようとする情報を必要としている人は必ず存在していて、その人たちは自身で情報を収集して動いている。こういった人達と結びついていけば大きな力になるのではないか。横のつながりを広めていくためには、幼少期からのキャリア教育も重要であると考えている。

委員：地域で活動する中でも、横のつながりは非常に重要であると感じている。様々な組織や団体と交流することで知恵が湧くので、行政が積極的に働きかけていただけるとありがたい。高齢者の力も貴重だと思うので、女性活躍推進においても、年代を問わず働きかけてほしい。

委員：横のつながりをどのように結びつけていくかということについては、行政が果たす役割が大きいと思う。個人の力をつなげると大きな力になるので、そのきっかけづくりを行政にお願いしたい。

委員：必要な情報をどのように届けるかということについては、行政に限らず各団体においても課題認識していることかと思う。情報の発信については、本当に大事なものを優先的に届ける観点が重要であるとする。

事務局：計画においても、数値目標を達成することを目的にしていまいがちであるが、それぞれの取組の中で得た意識や視点を今後に反映させていくことが本来の目的であるため、混同してはならないことを改めて認識した。情報発信についても、最近ではホームページでの情報発信が中心となっているが、能動的な方にしか有効に届かないと感じている。一方で、SNS等のプッシュ型による情報発信については、情報量が多すぎれば確認すらされずに放置されてしまう。つながりを大事にしてほしいという意見もいただいたので、一見、直接的には関係がないと思われるようなところにも、幅広く種をまくような情報発信をしていかなければいけないと考えている。

委員：男女共同参画は男性と女性の二面性で捉えられがちであるが、みんなで共同参画が基本であるとする。本日議論になった防災士についても、女性を増やす視点も大事だと思うが、性別関係なく、各年齢層に均等にいる方がよいのではないかと考える。

以上